

2013年1月21日

世界基金、國井修氏を戦略・投資・インパクト局長に任命

ジュネーブ – 世界エイズ結核マラリア対策基金のマーク R. ダイブル (Mark R. Dybul) 事務局長は本日、革新的な管理者として知られる世界的な医療専門家、國井修氏が戦略・投資・インパクト局の局長に就任することを発表しました。

世界基金の上級管理者である國井氏は、世界基金の投資によるインパクトを評価する医療専門家、戦略担当者、立案担当者を指揮することになります。

國井氏は世界の医療・開発分野において25年以上の経験を持ち、さまざまな領域を横断したパートナーシップの発展・構築において優れた実績を誇ります。現在ケニアのナイロビを拠点にユニセフのソマリアサポートセンターで子どもの生存・発達部門責任者を務め、医療、栄養、水、公衆衛生および衛生の各分野から集まった専門家のチームを率いて、世界有数の紛争・干ばつ地域であるソマリアの乳幼児死亡率の削減に取り組んでいます。

「オサムさんは素晴らしい革新者です」と、國井氏を賞賛するのは世界基金の事務局長に本日就任したダイブル氏。「彼は専門知識、独創性、管理能力、戦略策定とパートナーシップ構築の経験を見事に兼ね備えた人物です。世界基金をより強固な組織とするべく貢献してくれることでしょう。」

日本で生まれ育った國井氏は東京大学で疫学博士号を、ハーバード大学で公衆衛生学修士号を取得しています。また、日本の自治医科大学医学部を卒業しています。

國井氏は世界・地域・国家レベルの政策や方針の策定において幅広い経験を有しています。同氏は、ニューヨークのユニセフ本部にて保健戦略のシニア・アドバイザーとして、乳幼児の生存戦略の策定・立案を行いました。また南アジアにおけるユニセフのパンデミックインフルエンザコンティンジェンシー・プランにも取り組んだだけでなく、さまざまな国の医療計画や、マラリア、HIV、予防接種、リプロダクティブヘルス、母性保健、小児保健の戦略策定に関わってきました。

國井氏は、感染症対策・母子保健・プライマリーヘルスケアのプログラムやプロジェクトの立案・実施・評価や、ミャンマー・アフガニスタン・ブラジル・イラク・パレスチナ占領区・モザンビークをはじめとする数多くの国での医療制度の強化において幅広い経験を持ちます。

また、長崎大学 熱帯医学研究所の教授や、長崎大学国際連携研究戦略本部の副所長を務めたほか、その他の機関でも研究プロジェクトを率いてきました。

さらに、インド洋大津波の被害者の中での感染症の発生・健康への影響、カザフスタンの子供たちの栄養不良や呼吸器障害、チベットの小児期における喘息に関する国際的調査、タンザニアなどの国々にいるコンゴ難民の子どもたちに対して伝統的な慣習が及ぼす健康への悪影響などの分野で研究を実施・監督してきました。

また、日本の外務省経済協力局調査計画課課長補佐および特別政策顧問として、医療分野における政府開発援助の方針および戦略の策定・実施に関わった経歴も持ちます。さらに、2008年の沖縄サミットで発表された沖縄感染症対策イニシアティブを監督し、その結果、HIV、マラリア、結核をはじめとする世界の感染症対策に40億米ドルが拠出されました。このイニシアティブの下、彼は市民社会、非政府組織、民間部門、学术界、国連機関、さらにUSAIDやイギリス国際開発省とのパートナーシップ発展において日本政府および国際協力機構（JICA）を支援しました。また保健関連のミレニアム開発目標を加速させるための世界的取り組みにも尽力してきました。

國井氏はこれまでのキャリアを通じて、たくさんの非政府・非営利組織、公衆衛生・地域保健組織、専門協会において無償で役職を務め、助言を提供してきました。また、数々の諮問委員会の委員も務めてきました。

2011年に日本で地震と津波が発生した直後から、國井氏は日本ユニセフ協会による緊急時対応のフィールドマネージャーおよび被災地である宮城県の保健アドバイザーとして自発的に2か月間活動しました。

彼が研修医・臨床医時代に共同で設立・運営したアジア医師連絡協議会（現：アムダ）は今や29か国に支部を持ち、50か国以上で活動を展開する日本国内最大の緊急医療支援・非政府組織となっています。また、自身の医療・法務専門家、保険会社、翻訳者、その他ボランティアのネットワークを活かして栃木インターナショナルライフラインという非政府組織も設立し、医療や精神的ケアを希望・受診する際に意思疎通面、金銭面、文化的な問題に直面する多くの発展途上国からやって来た外国人労働者を支援しています。

これらの実績に基づき、國井氏は1995年に日本初の女性宇宙飛行士とともに国際青年会議所主催の“The Outstanding Young Person”賞を受賞しました。

國井氏は ヨガやカラオケ、ダンスに精通していることでも知られています。

#####

世界基金は、エイズ、結核、マラリアの予防および治療のための資金を調達・提供する国際機関です。世界基金は、各国の政府や民間財団、企業、関連地域との連携を高め、最も効果的な方法で助けを必要とする人々を支援しています。この革新的なアプローチは、借入国の責任やパフォーマンスを基準にした資金提供に依存しているため、各国の人々が優先事項に基づいた各自の事業を実施し、世界基金が確かな成果が上げられるものに資金を提供しています。

世界基金は2002年の設立以来、エイズ患者420万人の治療、結核患者970万人の治療、マラリア予防のための殺虫剤浸漬蚊帳3億1000万個の提供などを通じて、151か国の1000以上の

事業を支援してきました。世界基金は、他の二国間・多国間援助機関と密接な連携を保ちながら、これら三大感染症対策の補完を行っています。

お問い合わせ先

SETH FAISON

Head of Communications

携帯電話: +41 79 788 1163

Eメール: seth.faison@theglobalfund.org

世界基金の事業活動についての詳細はウェブサイト (www.theglobalfund.org) をご覧ください。

ツイッターで世界基金をフォロー: <http://twitter.com/globalfundnews>

フェイスブックで世界基金の登録者に: <http://www.facebook.com/theglobalfund>